

鳥取県立図書館見学記



- ・基本がしっかりしている上で、様々なサービスをしているという印象を受けました。ビジネス支援などがよく取り上げられますが、全ては基本があるからこそ裏打ちされた深みのあるサービスになるのだと思いました。
- ・児童書研究のコーナーの展示もきちんとしていました。資料を調べて展示を作るということができているようでした。
- ・お話の部屋が児童コーナーとは離れた2階にありました。いまある施設で工夫をしていることを感じるとともに、私たちが新しく作る時は近くに作りたいなと改めて思いました。
- ・職員の方が図書館機能をよく考え、お仕事をされているように感じました。(事前情報や評判を聞いていたからというのもあるとは思いますが)

(M)

- ・段差のない床。児童書コーナーの棚は概ね子ども用サイズだった。
- ・見やすい大きな字での表示。入り口付近に児童書コーナーがあり、その他の利用者とスペースを分けている。
- ・県庁前に所在。バス停が建物の前にあり、駐車場もある。
- ・ビジネス関連資料、法律関連資料、健康医療関連などが揃っている。高価な資料もある。
- ・大活字、マルチメディアデージー、外国語資料、郷土資料、まんが王国とっとりコーナーなどがある。同じ建物内に公文書館。
- ・本を見つけやすい工夫があちこちに見られた。例：健康医療の展示、闘病記文庫、医学の書棚、介護関連の本が近くにまとめられている。
- ・学校図書館や市町村立図書館との連携の様子が閲覧室内容からもうかがえた
例1 学校図書館応援コーナーに、教科書や調べ学習用の本を置いた棚あり。出版年が新しい本は貸出禁止だが、閲覧室には貸出可能本あり。
例2 病院図書室の案内(4病院分)あり。

(N)

- ・来館した人が、求める情報にたどり着けるように様々な配慮されている（館内のあらゆる箇所の案内図など）。
 - ・入口のパスファインダーのテーマに離婚・ストーカー・DV などもあり、切実だが、カウンターで借りる事をためらうかもしれないテーマについて、比較的人目を気にせずとも情報収集できるよう配慮されており、情報を求める人に届けようとする努力を感じた。
 - ・利用者本位で情報提供を考えているのが随所に感じられました。施設が大して新しくない（フツー）所でも、工夫次第でどうにかなるということを見せつけられました。
 - ・公文書館が隣接しているが、どのような相乗効果があるのか現場の声を聞いてみたいと思った。
- (Y)

- ・図書館と向かい合って公文書館がある。この配置は素晴らしいので、ぜひ静岡でも見習ってほしい。公文書館の重要性は図書館以上に理解されていないが、歴史と記憶を保存する、という機能において、この二つは両輪の関係にある。どちらが欠けてもいけないので、静岡県はこの機会に是非とも公文書館の建設を！
- ・2階の一角に国際交流ライブラリーがあった。東静岡再開発政策に留学生支援を入れるということなら、こちら也大いに参考になると思う。大学図書館との連携がどうなっているのか、説明を受ける時間がなかったのが残念だった。
- ・パスファインダーのテーマには「企業情報を調べる」「雑誌記事・論文を探す」「不当解雇」などがラインナップされている。また、「図書館を活用した『サポートの必要な家庭』応援について考えるセミナー」を主催したり、「図書館で夢を実現しました大賞」を募集したりもしている。従来型の図書館企画は、公民館でもやっていそうなテーマで人集めをし、申し訳程度に関係書籍を並べて図書館らしさを出すことが多かった。しかしここでは、確かに図書館にしかできないことが企画されている。
- ・細かいことだが、マイクロフィルムで所蔵している古い新聞の原寸大コピーが置いてあって、これは読みやすい！かつてマイクロリーダーで苦勞した身としてはうらやましかった。
- ・時間がなくて、書庫や詳しい蔵書について見るができなかったのが残念。議会図書室との連携がどうなっているかも聞きたかった。こうしていろいろ質問したいことが出てくるという点が、いい図書館の印ではないかと思った。

(S)

どちらの図書館も

- ・DAISY の体験できるスペースがありました。資料の利用にも繋がるし、サービスを受けたい人が声をかけやすい雰囲気になると思いました。